

# 体感型SDGs研修

～衣食住のアタリマエを“体感”で見つめ直す～

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## はじめにお伝えしたいこと

目まぐるしく変化を続け、将来予測の困難な現代社会において、SDGsへの取り組みがもたらす効果は目に見えています。自社の経営戦略とSDGsを統合させることで新たなビジネスチャンスを生み出し、市場競争力を高めて企業価値を向上させることが自社の存続と発展のためにも、経営における必須課題といっても過言ではありません。

SDGsが示す地球規模の優先課題に対して、革新的な技術や解決アイデアをもつ企業は、さらなる市場の拡大や資本へのアクセス緩和が可能になる。また、資源の効率的な活用や持続可能な代替策への転換についても、経済的なインセンティブを強化する動きが高まっています。社会課題の解決と企業の成長の両方を促すことで、SDGsでは、社会と市場の双方の安定化を目指しているのです。

**企業にとって、社員にとって、本当に必要な研修とはどのような内容なのでしょうか？**

**きっと、AIやロボットが人間を超える日が来ても存在し続け、選ばれる会社とは、  
“社員や地域はもちろん、地球、そして関わる全てを豊かにできる会社”であると私たちは考えます。**

**私たちタネノチカラは、SDGsの根底にある考え方である  
「共創」「循環」「多様性」を“体感”できる研修を提供しています。**

大きな変革を求める（求められる）今だからこそ、組織に変化を起こす“体感”をしてみませんか？

## タネノチカラとは？

東京で働いていたサラリーマン・OLの男女4名が、兵庫県淡路島へ移住し、2018年11月に株式会社タネノチカラを設立しました。「あたりまえの再定義」をMissionとし、約3haに及ぶ耕作放棄地を多様な生物が共生する場所として整え、持続性の高い豊かな環境で健やかなコミュニティを育むことを目指しています。現在は、共創循環型ファームビレッジ「Seedbed（シードベッド）」で、自然栽培の農体験やアースバッグハウス作り等の体験・滞在型プログラム、法人向け体感型SDGs研修プログラムを提供しています。

## Seedbed Projectとは？

「Seedbed」に関わる様々な人が、同じビジョンを持ち、豊かな地域の生態系と健やかな暮らしを共創する活動を「Seedbed Project」と呼んでいます。同じビジョンを共有しつながることで、国籍・年齢・性別などの属性にとらわれず、誰もが自分の在り方を肯定し、「人が生きる」を目指すProjectです。

## タネノチカラで提供しているもの

1. 体感型SDGs研修  
(キャリア研修・チームビルディング研修・地方創生研修 等)
2. 自然栽培(無農薬・無肥料)の農体験(Co-Growingプログラム)  
(土や雑草の理解・土づくり・種撒き・野菜づくり・種取り体験 等)
3. 農地でキャンプ体験  
(薪割り・火おこし・竹器づくり・収穫野菜で昼食づくり・DIY体験 等)

### 《その他ワークショップ・プログラム》

- ・アースバッグハウスづくり体験  
(そこにある土と、その場に集まった繋がりで作る持続可能な建築物)
- ・ハーブティワークショップ  
(身近にある植物を一緒に摘んで、意味を知り、美味しく飲む)
- ・釣り体験(淡路島で釣った新鮮な魚を自分でさばいて食べる)
- ・オーガニックコーヒー焙煎教室(自分でコーヒー豆を焙煎して飲む)
- ・ヨガ(あるがままの自然を感じながら、その時の自分の心と身体の状態に意識を向ける) 等々

約3haに及ぶ耕作放棄地を、  
3年間で1,000種類の多種多様な生物が共生するフィールドへ  
共創者（個人）、そして共創パートナーと共に整えていく。



## 共創循環型ファームビレッジ“Seedbed”

※完成予想図（5年後）

# SDGsとは (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限として国際社会が共同して取り組むべき開発課題のことであります。



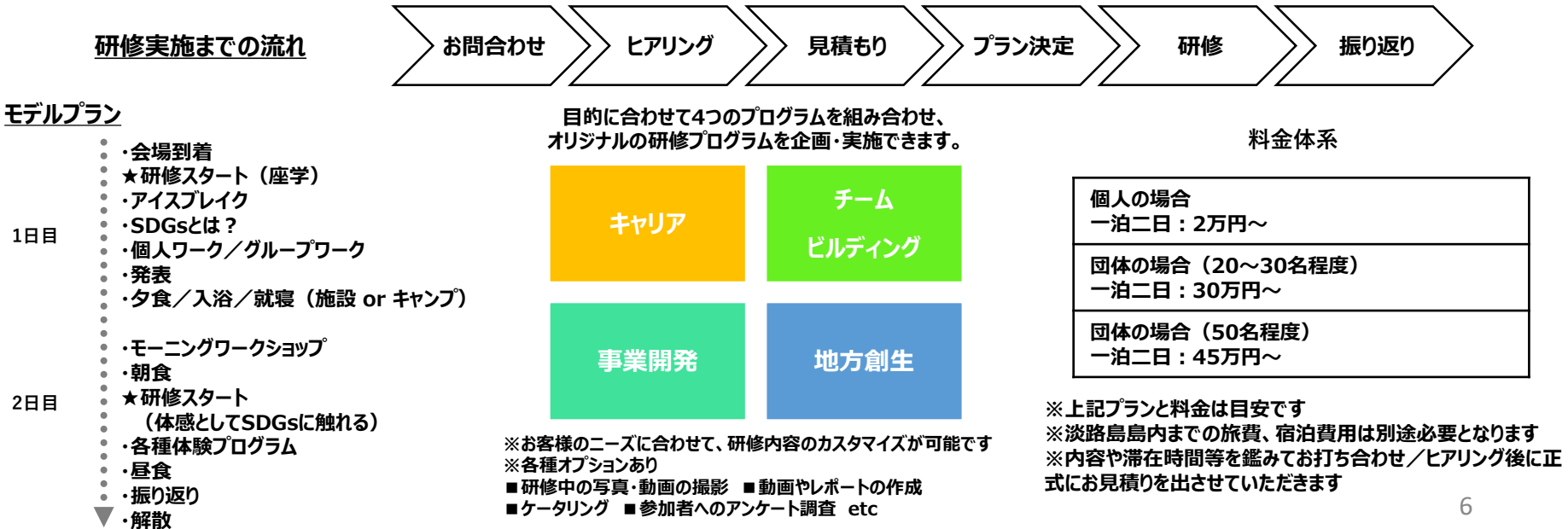
## ..ポイント..

- 国連193カ国が批准し、国・企業・自治体、全ての活動主体が「持続可能な事業でない場合、取引相手とみなされない」社会になっていく可能性がある
- 世界1,900以上の年金、保険、運用機関などが署名しているESG投資。総資金70兆ドル（約7,700兆円）を超えるお金が集まるESG投資の視点からみても、SDGsの17目標に事業がどのように関わるかは重要視される
- SDGsとCSRの違いは「**本業として取り組む**」かどうかである

# 体感型SDGs研修のコンセプト

- ①SDGsを“ジブンゴト”にする為の世界観の拡張
  - 「集団に依存しない、自立した個による共創社会」「社会から世界（地球）へ」
- ②地球と自分を消費しない、地に足がついた心身からの思考：“共創”循環“多様性”の視点
  - 身体感覚を伴うヒューマンスケールの実感 ● 仲間がいることのありがたさ、素晴らしさの実感
- ③ビジネスのあり方が問われる現代において、企業の存在意義に対する認識のアップデート
  - 地球に、その企業があること（自分がいること）で、より豊かな世界を創ることができる
- ④正解のない人生100年時代のキャリア形成
  - 社会と自然を感じられる中での自己認識の深掘り（自分の輪郭の体感、軸となる[自分のカタチ]）

対象者や目的別に研修プログラムの内容をカスタマイズすることが可能です。



# 体感型SDGs研修プログラム

～次の時代に必要なスキル・感性を身につける～

行程表	
各地	
10:00～10:30	①セミナー
10:30～11:30	②グループワーク
11:30～14:00	昼食： 自然の恵みを シンプルに調理し 素材を味わう
14:00～14:30	休憩・自由時間 ※フィールド散歩
14:30～15:30	③体験ワーク
15:30～16:00	④振り返り
16:00	
出発	

## ▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

(所要時間：6時間)

### ①セミナー・チェックイン：社会課題をジブンゴトに

・タネノチカラとして取り組んできた事業・歴史のご紹介  
～社会課題を解決する地方創生とは～

### ②グループワーク：自己認識・他者理解をする

・“今”の自分は何を感じるか？自己認識&他者理解ワーク  
・自分にとっての“あたりまえ”とは？「多様性」を理解するワーク

### ③体験ワーク：自分を活かす実感

衣食住全てに必要な“土”。  
土づくりを通して、SDGs根底に必要な「循環」の視点、  
全員で創っていく「共創」の視点を体感していくワーク

### ④振り返り：これから日常生活、仕事を通じて何をできるかを考える

・グループごとに、“今”何を感じているのか、午前中と何が違うかを共有し合う。  
・日々の仕事における考え方や事業創造など、これから何ができるか話し合う。



## ご昼食 体験ランチ～自然栽培野菜カレー～

### ◆火おこし～かまどづくり～

ライターやマッチがない状態での火を付ける体験ワーク。  
「火が付く」ということを捉え直す。



### ◆竹コップづくり

道具は自然からできていることを知り、体感する



### ◆自然栽培野菜でカレー作り

無農薬・無肥料の自然栽培野菜を使って、みんなで昼食を作って食べる。

### ◆食後：循環ワーク

地球から得たものは、地球に還す。循環の仕組みを知る。  
お米のとぎ汁・自分で食べた卵の殻を畑にまく。  
生ごみをコンポストに入れる。

## ▶その他補足情報

・お客様の課題やニーズに合わせて一緒に研修内容を企画することが可能です。

・研修前と研修後でアンケートを実施し、研修レポートを作成することも可能です

### ■持ち物

- ・動きやすく・汚れてもいい服装・着替え
- ・帽子・タオル



### ■確認

・写真・動画を撮影・公開することを希望しない社員がいる場合は、事前に教えてください。

・アレルギーがある方は人数・アレルギー内容を事前にご連絡ください。

## お問い合わせ

---

株式会社タネノチカラ

E-mail / [info@tanenochikara.com](mailto:info@tanenochikara.com)

代表金子携帯：080-4341-3786

---



# メンバー紹介



**代表取締役社長  
金子 大輔 (Daisuke Kaneko)**

1989年生まれ 神奈川県藤沢市出身  
妻、息子の3人家族  
単身赴任

略歴：  
14歳の頃：  
「人の幸せ」に関して強い興味を持ち、哲学や精神分析学の研究を始める。

神奈川県立湘南高校、早稲田大学教育心理学専修入学：  
「幸せ」が感じられる心の形成には、幼少教育が最も重要であり、大人が子どもに愛を伝えられる時間がある社会が必要だと強く感じ、雇用環境に興味を持つ。

2014年パソナ入社：  
次世代の子ども達が幸せに暮らせるために、持続可能な充実した雇用環境を実現したいと思い、「良い会社」を増やしたいという想いを持つパソナキャリアに人材紹介コンサルタント入社。  
入社3年目で、最先端IT技術で社会を変革していく企業（スタートアップ）向けのチームの立ち上げのリーダーを経験。その後、経営企画チームに配属。

想い：  
日本財政や少子高齢化を始めとした社会課題が山積みの中で、既存の社会システムの作り直しの必要性和、短絡的に日本の未来を見て、刹那的になる若者が多くなっている現状に、強い危機感を覚える。

知らないうちに身に染みてしまっている都市型の「あたりまえ」を再定義し、「持続可能」で「安心して子どもを育てる社会」を作りたいと思い、それらの基盤である「食と健康」をテーマにした事業を立ち上げるため、淡路島に移住。



**CCO (Chef Cooking Officer)  
富田 恭輔 (Kyosuke Tomita)**

1984年生まれ 高知県出身  
妻、娘の3人家族  
家族で淡路島へ移住

略歴：  
2006年新卒でエンジニアとして働いた後、2011年12月パソナキャリアに転職。  
人材紹介事業の営業、キャリアアドバイザーとして活躍。

サーフィンと茅ヶ崎をこよなく愛するが、夢を叶えるために波のない淡路島に家族とともに移住。  
関わる人の調和を大切にする。

2019年1月よりミャンマーで自然栽培されたコーヒー豆を使用した【Tommy's Coffee】をスタート。





**取締役**  
**奥田 悠美 (Yuumi Okuda)**

1985年生まれ 新潟県出身  
夫、息子2人の4人家族  
東京に住む夫と離れ、子ども2人と淡路島に移住

略歴：  
2008年日系コンサルティングファーム入社。  
2012年パソナ入社。  
営業＋新規事業としてエンジニア向けのイベント企画運営を経験。

想い：  
母として・女性として・人として、固定概念にとらわれず挑戦しつづける自分でありたい。  
そして持続可能な社会を願い、  
行動に移したいと思っている人の道を創りたいと淡路島で事業立ち上げに参画。



**取締役**  
**金藤 早貴 (Saki Kaneto)**

1992年生まれ 千葉県出身  
独身

略歴：  
2014年、株式会社パソナへ新卒入社。  
スタートアップ・中小、大手企業の経営者に対してグループ全体のサービスを提案する総合営業を経験。  
直近は自社の新卒採用担当として、インターンシップや採用イベント、説明会の企画・運営等に携わる。

想い：  
20代で結婚・出産を経験し、家庭と仕事を両立しながら都会で暮らす計画を立てていたものの、  
本当に自分の“意思”であるのか疑問を感じて世間の“あたりまえ”を見つめ直すために淡路島へ移住。  
『真の豊かさとは何か』を求めて、私も地球も気持ち良い“サステナブルな暮らし”を実現したく、  
当事業に参画。